

地域医療連携室

1. スタッフ構成(2026 年 3 月時点)

- 二宮 朋之;地域医療連携室長
- 井上 武;地域医療連携室副室長
- 椿 崇仁;地域医療連携室副室長
- 藤本 欣浩;地域医療連携室長補佐
- 【医療相談職員】
- 看護師:8 名、社会福祉士:9 名、事務員:2 名

2. 運営方針

愛媛県における円滑な医療の推進に寄与するため、地域医療連携の拡充に向けて活動を行っています。地域医療支援病院として地域医療機関との連携を推進するとともに、県民の安心の拠り所となる病院を目指し、愛媛県の医療水準の向上に貢献できるよう地域の医療機関ならびに介護施設等とのさらなる連携を進めています。

3. 実績

<業務内容>

- 紹介患者の受付・予約(FAX による受付)
 - 紹介患者(地域医療機関からの紹介患者)の受付・登録・予約
 - 逆紹介患者(地域医療機関への紹介患者)の医療情報の送付
 - セカンドオピニオンの予約・調整
- 高額医療機器検査の受付・予約
 - 紹介患者のCT、MRI、RIの受付・登録・予約
 - PET-CTの受付・登録・予約
- 医療相談
 - 逆紹介患者に対する医療相談
 - 入院・外来患者に対する医療相談
- 医療情報等の地域医療機関への提供、情報発信
 - 各種勉強会等の案内
 - 医師会との連携
 - 病院・診療所訪問
- がん相談および支援
 - がんに関する相談
 - 広報活動

主な業務内容は、紹介患者の受付・予約(FAX による受付)、高額医療機器検査の受付・予約、転院や退院支援に関する医療相談、がん相談、医療情報等の地域医療機関への提供などです。協議案件については、地域医療連携室のスタッフでカンファレンスを行い、対応を決めています。

地域医療機関が患者さんを紹介しやすい体制づくりを目指して、外来担当医の予約枠に地域医療連携室事前予約優先枠を設け、診療日時の予約の取得と紹介元への返信の迅速化に努めています。

2025 年の紹介患者数は 26,312 件となり、減少傾向にあります。地区別では、松山市の医療機関から紹介が約 7 割を占め、松山市外や南予・東予・県外からもご紹介をいただいています。

■ 診療科別紹介元地区別件数

診療科	患者数	中予		東予	南予	県外
		松山市	松山市以外			
麻酔科	2	2	0	0	0	0
救急科	181	132	6	20	22	1
産婦人科	1,589	1,249	59	62	141	78
新生児内科	45	32	0	4	8	1
小児科	1,201	967	135	31	37	31
小児外科	207	159	18	10	13	7
糖尿病・内分泌内科	559	406	93	9	25	26
腎臓内科	740	519	126	31	52	12
泌尿器科	1,467	1,134	160	51	108	14
腎移植外来	119	72	7	29	9	2
消化器内科	3,084	2,298	424	89	235	38
消化器外科	1,196	802	150	67	157	20
血液内科	497	311	72	65	36	13
呼吸器内科	80	44	4	8	21	3
感染症内科	4	1	0	2	0	1
呼吸器外科	1,615	1,132	213	93	154	23
乳腺・内分泌外科	677	555	55	16	44	7
放射線科	1,691	1,266	97	32	294	2
脳神経内科	722	515	124	18	50	15
脳神経外科	753	503	125	53	50	22
循環器内科	1,815	1,196	285	138	156	40
心臓血管外科	733	392	89	104	142	6
総合診療科	1,172	945	144	27	49	7
整形外科	2,078	1,409	398	146	97	28
形成外科	549	441	43	27	31	7
皮膚科	586	439	92	15	32	8
眼科	844	508	98	38	184	16
耳鼻咽喉科	1,022	764	148	37	59	14
精神科	15	7	4	2	1	1
漢方内科	75	55	6	3	8	3
歯科・口腔外科	994	735	228	6	25	0
合計	26,312	18,990	3,403	1,233	2,240	446

CT、MRI、PET-CT 等、高額医療機器の利用は 1,679 件となり、件数は増加しています。

■ 紹介件数

	2022	2023	2024	2025
各科合計	24,013	25,129	25,483	24,633
放射線科	1,431	1,518	1,478	1,679
合計	25,444	26,647	26,961	26,312

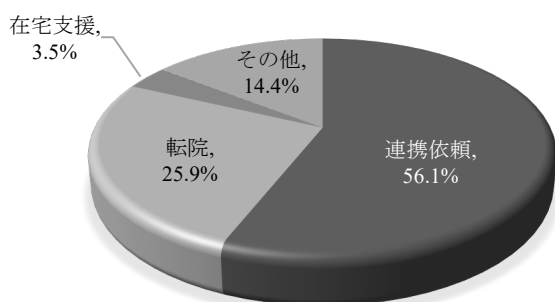
■ 放射線科紹介件数内訳(2025 年)

	件数
PET	444
CT	718
MRI	468
RI	10
その他	39
合計	1,679

医療相談については、相談件数は年々増加傾向にあり、相談内容は連携依頼、転院に関することが全体の約 8 割を占めています。

■ 医療相談介入件数および主たる相談内容

相談内容	件数
連携依頼	3,554
転院	1,643
在宅支援	224
移送方法	1
書類記入相談	3
その他	914
合計	6,339



地域医療連携室では顔の見える連携を目指し、継続的に病院訪問を行ってきました。コロナ禍においても、2021 年より Web での地域連携室の面談を開始し、現在は 12 施設と定期的に面談を実施しています。また 2022 年 12 月から病院訪問を再開しました。2025 年は 20 医療機関に訪問を行いました。

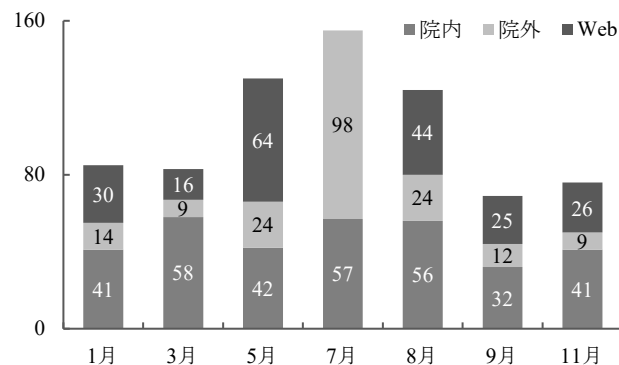
基幹病院としての役割を果たすために、情報発信を目的に医療連携懇話会(学術講演会)をハイブリッド形式で開催しています。メール登録者の方々には、6 か月の期間限定で YouTube 愛媛県公式チャンネルにて懇話会の動画を公開しています。

■ 医療連携懇話会

	講義	テーマ
第 141 回	脳神経外科	知ろう, 脳神経外科
第 142 回	歯科、病理診断科、総合診療科	私たちの歩んだ道
第 143 回	耳鼻咽喉科・頭頸部外科、看護部、リハビリテーション部、歯科	嚥下障害
第 144 回	28 診療科	県立中央病院をまるごとご紹介します
第 145 回	呼吸器内科、病棟看護師、地域医療連携室、居宅 珠の実、訪問看護ステーションむすび	“自宅で過ごしたい”にどう応える?～病状受容と在宅生活支援のプロセスをふりかえる

第 146 回	心臓血管外科、循環器内科	地域連携で守る!中樞から末梢までの血管命脈―進化する大動脈・末梢動脈インターベンション
第 147 回	総合診療科、小児科、薬剤部	成人、小児の膠原病

■ 医療連携懇話会参加人数(人)



地域医療連携室発信の定期刊行物として「地域連携室便り」を季刊(3・6・9・12 月)発行し、ホームページに掲載しています。

また、地域医療連携ネットワークシステム【媛さくらネット】の運用を行っています。2025 年 12 月末時点で、登録医療機関 26 施設、登録患者は延べ 632 人と増加しています。2023 年より閲覧可能な開示情報を拡大し、退院サマリの公開を行いました。また、閲覧期間の延長やアクセス権の期限が切れた場合の対応を行い、登録数の増加を目指しています。

< 地域医療支援病院について >

地域医療支援病院とは、医療施設機能の体系化の一環として、患者さんに身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施などを通じて、第一線の地域医療を担う、かかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備などを有するものについて、都道府県知事が個別に承認する病院です。当院は 2010 年 10 月に認定され、地域医療支援病院の責務として次に挙げる事項について、地域の皆様方や医療機関に貢献できるよう支援しています。

診療情報提供書および返書管理については、システムを活用することで、返書率は向上しています。また 2023 年 4 月からは、かかりつけ医紹介カウンターの運用を開始し、地域医療機関への逆紹介を推進しています。

< 地域医療支援病院の責務 >

- (1) 紹介患者に対する医療の提供
- (2) 紹介患者の診療と逆紹介
 - ・ 開放型病床の利用
- (3) 医療機器の共同利用の実施
 - ・ CT、MRI、PET-CT等医療機器の利用
- (4) 救急医療の提供
- (5) 地域の医療従事者に対する研修の実施
 - ・ 年間を通じた研修会、勉強会の実施と案内

4. 2026 年度目標

- (1) 紹介・逆紹介のさらなる推進
- (2) 入退院支援の強化

医療の機能分化が求められる中、当院は急性期病院の役割を担っています。患者さんが病状にあった適切な治療を継続的に受けるためには、急性期病院と地域の医療機関との連携が不可欠です。顔の見える連携を通じて、地域医療機関から紹介患者の受け

入れを円滑に行っていくことが課題です。

ご紹介いただいた患者さんについては、紹介元の医療機関にスムーズな情報提供を行うことを徹底し、連携の強化を図るとともに、在宅療養を支える関連部門の方々ともカンファレンス等を通じて情報共有や連携を行い、逆紹介を含む入退院支援体制をさらに充実させていきます。

当院は、地域医療連携ネットワークシステム【媛さくらネット】の活用によって、地域医療機関と適時、適切な情報共有ができる体制を整えています。今後も地域医療機関との連携を強化するツールとして、【媛さくらネット】の周知・活用を進めていきます。